

K S K Q
2024年度 第1号

オリーブだより



また暑い暑い時期がやってきました。そんな暑くなる少し前に、毎年恒例のBBQに行ってきました。まずはその様子からお伝えします。

オリーブ・バーベキュー ~5月24日(金)

日野野外活動施設~



ことしは珍しくよく降られるオリーブのレクですが、この日はずっとお天気に恵まれました。

バス路線改廃もあって多分ルートは変更になっていたりもしましたが、会場に着いて、火起こし班・おにぎり班・焼きそば班・サラダ班等へと自由に分かれてからしばらくするころには、たくさんの生野菜が盛られたボウルやおにぎりやジュースなどがところ狭しと並び、2ヵ所の火の上には網も置かれもう準備は万端で、さすがの手際のよさといったぐあいでした。

乾杯の後は、いつも通りの焼きそばとお肉を焼くところから始まりました。その間にもう一つの網ではお肉や焼き野菜が仕上がってきましたので、できますよーという声が両方からかかり始めると食べるほうは一気に忙しくなります。それにことしはオリーブ製の何でも挟めそうなパンもあり、夢もおなかも膨らむというものです。

そうそう、食べたり飲んだりといえばコップやお皿も必要ですが、今回は学校給食で使うようなアルミ製かのようなもので飛ばされたりもなく、とても使い勝手がいいように感じました。

そんなこんなで呼び声の波が二、三度ほど過ぎると、山ほどあった生野菜がなくなったのに、焼いていないお肉はまだまだあるみたいというのに、さすがオリーブならではでしたが、食べるほうはすっかり落ち着きました。ですが、ここから焼きマシュマロが始まるのが最近の流れで、それならと再び人が動き出します。また、これが一口ではおさまらないほどに大きくなっていて、とても食べごたえがあったのではと思われます。

そして食べ終わるともちろん後片付けがあるのですが、これも自然とみんなで洗ったりふいたりになり、あっという間に済みました。

それからは、三角ベース・青空コーラス・のんびりタイムと好きなところへ分かれて、食後の時間を思い思いに過ごしたようでした。

その後、みんなで簡単に振り返りをし、今度の車検でお別れになるというアトレーとの記念撮影を終え、最寄り駅で解散となりました。

以上のように年々洗練されていくバーベキューレクの今後が、とても楽しみです。(E17)



感想

今回BBQ委員を担当した福井です。最初に当日の段取りを話し合って買う物をリストアップして2日前にお肉屋さんにお肉を買いに行ったり、業務スーパーに必要なものを買いに行ったりして準備をしました。

当日は先に着いて皆さんができる前にやれる事をやって、みんなが到着したら各部門に分かれて食べる準備で、自分は今回豆ご飯だけだと寂しいと思ったのでおかかご飯を作りました。

食べる準備が出来たら頂きますをして、早速オリーブのパンに肉を挟んで肉パンにしたり、焼きそばパンにしたりして堪能しました。焼きマシュマロが意外と好評で、みんな各自熱い火の前でじっくり焼いて美味しく頂きました。食べ終わったら、腹ごなしに走らない野球をチームに分かれて対決しました。野球の後冷凍庫に冷やしておいたチーズペットを食べてひんやりしました。最後にオリーブが長年お世話お世話になった車の前で集合写真を撮って終えました。今回久しぶりにBBQ委員をやってみて、みんなが良い笑顔で美味しく食べてるのを見て、やった甲斐があったなあと感じました。来年のBBQもこんな風に充実した1日を過ごせたら良いなと思いました。

畠のこと

今年は、すべての野菜を種から育てています。3月初めのまだまだ肌寒い頃に種を蒔いて、そこからぐんぐんと成長して大きくなり、今では沢山の実をつけています。野菜にとっては当たり前のことだと思いますが、畠の作業に携わり1年ちょっとの私にとっては、日々大きくなる野菜を見て、「わくわく」と「しっかり育っているなあ」と楽しみと嬉しさを感じることができました。野菜の成長を見ているとパワーをもらいますし、小さい頃から育ててるので「大事にしないといけない」とそういう思いにもなります。

今は、夏野菜の収穫真っ盛りで、きゅうり、とうもろこし、ナス、トマト、ミニトマト、ピーマン、とうがらし、それぞれ量は採れませんが、沢山の種類の旬の野菜が店頭で並んでぎわっています。お客様から食べた感想やいつあの野菜が出るのかと聞かれることがあり、喜んでもらえることや楽しみにされていると感じることが多くあります。大切に育てた野菜をそのように思ってもらえることは、本当に嬉しいですし、やりがいにもなります。



オリーブの畠では、これまでと変わらず、農薬や化学肥料を使わずに安心で、露地栽培ならではの旬の野菜を栽培しています。上手くいかないことも多いですが、日々、野菜の様子を見ながら、食べてもらう方に喜んでもらえるように皆さんと作業をしていきたいと思っています。



給食のこと

今年度から給食をオリーブで作り始めました。以前も作っていましたが、ここ2年ほどは外部に発注しておりました。報酬改定により食事提供加算の要件が変わったことがきっかけでした。200円だった給食費も300円になり、それをメンバーさんに伝えた時は「高くなるのはきつい」「このご時世仕方ない」など様々な意見がありました。値上がりが嬉しい人なんていないはずです。みんな不安の中での始まりです。

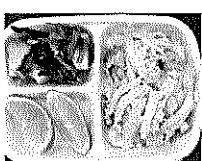
給食作りは担当の河原さんと、お手伝いをしてくれるメンバーさんとで行います。最近は加工の作業で、オリーブの野菜を使った一品も作ってもらっています。

手作り給食は始まるととても好評でした。しかしながら「いい加減」は難しく、私はお肉を買いすぎてしまったり、お米を炊きすぎたくさんのお寿司が出来たり。

先日来客された外部の方がオリーブに来た時「いい匂いがしますね」と言われ、つづけて「いろんな施設や病院に行っている中で匂いってそこを表す重要なもの」という内容の話をしてくれました。私は考えたこともなく、その日のメニュー「五目ちらし」の匂いを意識してみました。確かに甘酸っぱい香り。それから少し意識して給食の日は匂っています。(なんだか文字にすると変だなと思いますが) そういえば小さい頃他の家からカレーの匂いがすると、いいなあと思いながら帰っていたことを思い出しました。

オリーブで作ると匂いがもなく調味料の一つのようについてきます。それは誰かの手が加わっているような証のようなものであり、温かさを感じるような気もします。鯛を焼いた日なんかはなかなか名残りが強いです。

今の時期畠では夏野菜がたくさん収穫されています。お店にはちょっと出せないものも食べると変わりなく美味しいです。これからも太陽を浴びた力強いお野菜を給食でたっぷりとお届けできたらと思います。



きゅうり。
この時期
この時期
あちこち
込みました。
うりも混
うり。
五目ちらし
うりはきゅ
はきゅう
うり。



まはボし採は
はすべての日
れた。副菜の
て。副菜で
工で作りダ
の日の野
葉で

新スタッフ紹介



今年度からオリーブで働いている3人のご紹介です。初めまして。

今年の4月末から主にグループホームの夕食作りに携わらせていただいております。春日喜恵と申します。

趣味というかストレス発散法というかここ数年前から週末は朝5時前に起き友人と家の近くを1時間半程ぐるり散歩したり、時間をみつけて自宅裏の小さな雑木の庭をイジったり、録画していた韓国ドラマを観たりとそのような時間が楽しみのひとつとなっています。最近は意識して呼吸を整えるようにしています。深呼吸大事です。

おススメの夕食レシピがあれば、また教えて下さい!!
どうぞよろしくお願ひします。

5月より入社しました、山村純士と申します。

私自身が当事者で医療関係者や福祉支援員に大変お世話になり、自分がしてもらったことへの恩返しとして私が支援側に回れないかと考え、オリーブに応募しました。
今はまだ頼りなく迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、1日でも早く皆さまのお役に立てる様に頑張りますので、どうぞこれからもよろしくお願ひいたします。
趣味はゴルフと読書（石田衣良が好きです）と映画鑑賞です。



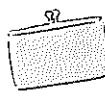
ご縁あって入社しました中澤香織と申します。
まだ不慣れでわからないことばかりですが、みなさんのあたたかさに触れながら楽しく仕事させていただいています!!よろしくお願ひいたします。

趣味は書道と料理です。

私の愛用品

みんなが長年愛用しているもの、大切にしているものをお聞きしました。

財布。25年くらい。ダンビルのもので非常に丈夫であるから。（文字）



ネックウォーマー
クリスマスの景品でメンバーさんに当て貰って、冬場はいつも役立っています。（福井）



プラチナのシャーペン。もう10年以上は使っていますが、筆圧の弱い私でもそれなりの字が書けるからか、ずっと使っています。（E17）



親に買ってもらった自転車
もう20年位乗り続けています。
今年の春、かなりの額を投じて部品の大半を入れかえました。
これであと20年は乗れそうです。
(廣田)

平成9年から使っている洗濯機と炊飯器。サンヨー製。愛着はないけど壊れない。（T）

理事長のひとこと

「余計なもの」

年度末から年度初め(2月～6月)にかけては、色々と忙しいことが続きます。理事会や評議員会、事業計画に、事業報告、決算、行政の各種届出等々。これが通常の業務にプラスでしなければならないので、考えただけでも気分が滅入ります。(でも大切な仕事なのでやります!)この文章を書いているのは、7月頭なので、ようやくちょっと落ち着いたなと一息をついている時ですが、そんな時にまた新たな仕事を受けてしまうのも私の性でようか…。さて、忙しい時は、余裕がなくなり、考えることも狭くなります。余計なものに手を出さなくなります。そんなことするなら、しなあかんことしようといった思考でしょうか。ただ、そうしているともっと視野が狭くなり、どんどんと自分を追い詰めていくように感じます。なので、実は余計なものこそ逆に大事なのではないかと。つまり、自分の考えていること以外のことを知ることが、こころのゆとりを与えてくれるのではないかと思います。それは、運動したり、本を読んだり、散歩したりすることでも十分だろうと思います。そこで、私は定期的な運動と、読書を心がけるようにしています。読書はなるべく、専門書のような仕事に関するのではなく、誰かのエッセイ等の少し脳にそれをよみがいいのではないかと思います。私の机には購入はしたが、読んでない本が積まれており、そこで何となく気になっていた本を手に取ってみると、これが今の自分にとってヒントを与えてくれるものだったりします。ブレイディみかこさんの「他者の靴を履く アナーキックエンパシーのすすめ」を手に取りました。その一節、

「なんだかんだ言つても、いいんじゃない?ちょっとぐらいい迷惑でも?誰だって甘やかされないといけないし、他者のことを我慢することは、彼らも君のことを我慢しなきゃいけないということだから」。「迷惑をかけたくない」という日本独自のコンセプトは、一見、他者を慮っているようで、そうでもないのだろう。人を煩わせたくないという感覚は、ここに書かれている通り、人にも煩わせたくないという心理の裏返しからだ。

ここだけ切り取つても?ですが、頭がビジーな私にとっては、そうか、迷惑をかけていいんだ、だって他者のことで我慢していることたくさんあるからと勝手な解釈でなぜか少し心が楽になっていました。大げさに言うと、余計なこと、つまり自分の意識に上っていないことに真理がある気がします。それぐらいにゆとりが個人に社会にあるためには、まずは自分がゆとりを持たなくてはと自分のことを省みるここ数ヶ月でした。

着物・糸の寄付のお願い
オリーブでは寄付で頂いた着物や糸で、いろいろな製品を作っています。頂いたものが形を変えて、誰かの元へ届くよう、大切に使わせて頂きます。

編集後記

・建物ばかりが新しくなり、私たちの生活に必要な諸制度は古いまといでの社会を非常に疊う、きょうこのごろです。(E17)
・故郷で毎年購入している海藻があるのですが、道の駅に連絡すると、「直接○○さん(生産者)に電話して聞いてみてあげるわ。9個注文言てるけど、もう10個にしここか」と。久々に感じるこの距離感の近さ。力が抜けるような、ほっとするような気持ちでした(浜内)

オリーブだより 2024年7月編集
発行人
関西障害者定期刊行物協会
大阪市天王寺区真田山町2-2
東興ビル4階
編集人
オリーブホットハウス
社会福祉法人 オリーブの会
京都市山科区東野中井ノ上町3-33
TEL: 075-591-4669
FAX: 075-591-4679
ホームページ <http://olive-net.info/>
フェイスブック
<https://www.facebook.com/olivethothouse/>
メールアドレス
olive-cw@rio.odn.ne.jp
定価 50円

いつもありがとうございます。
岩村様、チエ子様、佐藤純様、大久保様、谷直介様、長岡様、
西谷様、三好様、村上様、大河内様、木谷真人様、木谷惠様、ダシケン様、
（株）大曜様、京都奉製（株）様、大井啓吾様、春日丘セイジ様、認知症
予防ネット様、總本山醍醐寺様、春日山大原寺様、西谷朝貴様、
タツヨ様、洛和会ヘルスケアシステム様、関西よし子様、
葉連絡会様、（株）よつ葉ホールディングス様、
滋様、里地会クリニック様、京都市文化市民局山科店
高齢者委員会様、竹之内運送（株）様、無印良品京都山科店
会議様、里地会クリニック様、京都市文化市民局山科店
福祉協議会様、国際交流の会とよなが様、おもてなしソムヤマシナ様、
高会会員様、阿吽様、オーガニックマーケットしまじろ様、
福祉協議会様、近畿オービス（株）様、
六年内支援課様、社会福祉協議会様、京都ごみ減量センター様、
令年三月～令六年七月順不同

は、オリーブだよりのバックナンバーを読みたい